

# IPPO IPPO NIPPONプロジェクト 能登半島支援 寄附ご協力のお願ひ

全国の経済同友会は「IPPO IPPO NIPPONプロジェクト 能登半島支援」を立ち上げました。このプロジェクトは東日本大震災や熊本地震の経験を活かし、ご賛同いただいた企業や個人からお預かりした寄附金を被災地の人づくりや経済活性化に役立てるプラットフォームを築くものです。主に地場産業の将来を担う若者を育てる専門高校への支援を想定しています。金沢経済同友会や石川県教育委員会の協力の下、今、支援を必要とする学校現場にきめ細かく確実に届ける努力をしていきたいと考えています。

つきましては、本プロジェクトの趣旨をご理解いただき、皆さまの善意のご厚志・ご支援を心よりお願いいたします。

## IPPO IPPO NIPPONプロジェクト 能登半島支援 運営委員会

**共同委員長** 宮部 義幸 関西経済同友会 代表幹事  
宮崎 直樹 中部経済同友会 代表幹事  
岩井 睦雄 経済同友会 筆頭副代表幹事

### ■目標額

**3,275 万円** ※最低限度の目標であり、できる限り多くのご支援をお願いいたします。

### ■募集活動期間

**第1期** 2024年9月2日～2025年2月28日

**第2期** 2025年4～9月(予定)

被災地の復興状況を勘案しつつ、人づくりと産業活性化に向けて、真に支援を必要とされる方々にきめ細かく確実に支援をお届けするため、3期にわたり活動を実施いたします。第2期以降の募集や支援先については各期の開始にあたり都度ご案内いたします。

### ■対象

全国経済同友会、会員・会員所属企業および主旨に賛同いただける国内外の企業・個人

### ■寄附方法

本会ホームページ

「能登半島支援活動の概要」参照



### ■寄附金に関する税制優遇措置

「IPPO IPPO NIPPONプロジェクト 能登半島支援」第1期活動に対する寄附金は税制優遇措置が受けられます(法人の場合、全額が損金算入可能)。

### ■寄附金の使途

運営委員会での決定に基づき、第1期に頂戴した寄附金については、①能登高校(地震で損壊した食品実習用の冷蔵庫など3,275万円相当の各種実習機材)②石川県教育委員会・庶務課にて実施する支援に充当いたします。

### ■ロゴマークの供与

寄附に参加いただける企業に対して、「IPPO IPPO NIPPONプロジェクト」ロゴマーク(下記参照)を供与します。別途定める使用約款の範囲内において、各企業の広報・販促活動、商品への貼付などに自由にお使いいただけます。

## IPPO IPPO NIPPONプロジェクト

東日本大震災で被災した地域の人々や産業を「一步一步」元気にしていこうという趣旨でスタートしました。被災地復興の助けになりたいという、プロジェクト参加企業および個人の思いが込められています。NIPPONというアルファベットの真ん中には、IPPOという言葉が入っています。このIPPOとNIPPONを組み合わせたスローガンです。



あなたの応援が、  
復興への一歩になる。

縦に並んでいる複数の丸は、被災地が復興に向けて、前向きに「一步一步」進んでいく様子を表現しています。また、日本全体が一つになって被災地の復興を応援しようという意味を込めて、日本国旗をモチーフにした赤と白の2色を使用しています。

お問い合わせ

## IPPO IPPO NIPPONプロジェクト 能登半島支援 運営事務局

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-6 日本工業倶楽部別館5階 公益社団法人経済同友会事務局内  
TEL: 03-3284-0316 E-mail: ippo2024@doyukai.or.jp